

2013 年版

翻訳コンテスト

英日翻訳コンテスト 第 135 回～第 146 回

出版：（有）斉木学園 斉木翻訳事務所



第 135 回 英日翻訳コンテスト

以下の英文（見出し・本文）を日本語に翻訳しなさい。

引用データ：The New York Times Jan. 19, 2013

見出し **Size of Blast and Number of Injuries Are Seen as Rare for a Rock From Space**

本文 The meteor that exploded over Russia on Friday set off the largest explosion of its kind in more than a century, at least according to Western scientists. And even more unusual for a meteor, it caused numerous injuries, mostly from flying glass, as the shock wave violently jolted the city of Chelyabinsk.

It hit on the same day that astronomers were watching another larger rock miss Earth by just 17,200 miles, and experts scrambled to understand the two rare cosmic events.

Some initially speculated that Earth was passing through a swarm of asteroids, but the Russian meteor came from the other direction. “There is no relation there,” said Paul Chodas, a scientist with NASA’s Near Earth Object Program. “It seems like we’re in a cosmic shooting gallery here. There were two very rare events happening on the same day. Pure coincidence.”

出題者コメント

日本史の中で”キリスト教の伝来”として学ぶように、異国の地で経済活動することは、その方法が多国籍企業の下請けであれ何であれ、本来それがどのようなものであるかを子供の頃から家庭やあるいは社会人となったら会社などの社内教育の中でしっかりと学ぶべきものであろう。

解説と講評

この解説では、以下 2 点だけ述べておこうと思います。

第 1 点は、ヘッドラインの「動詞」についてです。何人かの応募者に伝えたのですが、ここでは

動詞の"hostages(are もしくは end up)dead"となって、「人質が殺害された」となるのです。ここで重要なことは、ヘッドラインは決して「名詞語句ではなく文章である」という認識です。その認識によって"be 動詞" の省略を見抜くことができるのです。

第2点は、", killing ~and raising~"の個所です。この二つの現在分詞は「分詞構文の接続詞(and)の省略」というものです。そして、その前にある"reached"とその接続詞によって「原因・結果」（いわゆる因果関係）によって結ばれているのです。
従って、訳としては「～流血の結果を迎えた。それによって武装勢力の大半は掃討され、殺害された人質は～に上った」となるのです。

模範訳例（最優秀答案）

（見出し）

アルジェリア、流血の包囲作戦のヤマ場で人質殺害される

（本文）

サハラ砂漠で起きた人質事件は発生から4日後の19日、アルジェリア軍がイスラム武装勢力に占拠されたガス関連施設を攻撃したことによって、多くの死傷者を出す結果となった。残っていた武装組織メンバーのほとんどが殺され、また殺害された人質の数は少なくとも23名にのぼることが、アルジェリア政府の発表で分かった。

アルジェリア政府はガス関連施設の制圧を完了したと発表したが、複雑に広がるプラントのどこかにいまだ何人かのテロリストが隠れていると考えられるため、軍が捜索を続けていると述べた。

軍と武装勢力のにらみあいや制圧作戦の詳細、さらに犠牲となった人質の氏名および死亡時の状況については、19日夜の時点ではまだ明らかになっていない。米ホワイトハウスも、詳細を把握していない模様だ。

総評

この翻訳コンテストも、かつて奈良新聞のミニコミ紙「奈良リビング」に掲載した「ヘッドライン翻訳コンテスト」（2001年）から数えると、もう11年も経ったわけです。

私は長年にわたって英語教育に従事する者として、それ以前にも「英語学習の普及」のために朝日新聞や読売新聞などのミニコミ紙に英語問題を出題してきました。どれだけ貢献できているのかわかりませんが、解説や添削した応募答案は数知れません。

今回はそれらの長年の経験から一つのアドバイスをしたいと思います。

それは、「どんな小さな事柄、例えば冠詞の"a, an, the"の一つであっても知ったつもりになってはいけない」ということです。これはとても重要な「ものの見方」と言いますか、「学習姿勢」と言いますか、広く言えば「生き方」の問題です。

ですから、その考えを現代の英語学習に当てはめると、それは「英語学習法もどき？」であって、とても異文化の思考回路を表した英語に対する「科学的な学習法」とは言えません。实际的に、日本のどの大学へ進学してもグローバル的に見ると、「できない人、物まねの上手な人(パクリ屋)、目先の利く人利かない人」になってしまい、その結果を鴨長明の方丈記風に言えば、人も文化も泡沫（うたかた）のように「・・・かつ消えかつ結びて久しくとどまりたるためしなし・・・」という誠に深刻な現実がその証拠ではないでしょうか。

誰もが偽の真実を疑うことなく「盲目的に覚える癖」（科学的思考ではなく非科学的思考）が教育の中で定着してしまった過去からの現実が英語学習にも、また異文化に対するすべての理解にも横たわっていると思います。

ですから、英語学習の根本は何はともあれ誰もが「どんな小さな事柄であっても真実か虚偽かを疑うこと」「これまでの学校教育の在り方や自分自身の学習の在り方を疑うこと」（懐疑の精神―懐疑論）から始めなければいけません。知ったつもりになってはいけないということです。

以上。

第 136 回 英日翻訳コンテスト

以下の英文（見出し・本文）を日本語に翻訳しなさい。

引用データ：The New York Times Feb. 15, 2013

見出し **Size of Blast and Number of Injuries Are Seen as Rare for a Rock From Space**

本文 The meteor that exploded over Russia on Friday set off the largest explosion of its kind in more than a century, at least according to Western scientists. And even more unusual for a meteor, it caused numerous injuries, mostly from flying glass, as the shock wave violently jolted the city of Chelyabinsk.

It hit on the same day that astronomers were watching another larger rock miss Earth by just 17,200 miles, and experts scrambled to understand the two rare cosmic events.

Some initially speculated that Earth was passing through a swarm of asteroids, but the Russian meteor came from the other direction. “There is no relation there,” said Paul Chodas, a scientist with NASA’s Near Earth Object Program. “It seems like we’re in a cosmic shooting gallery here. There were two very rare events happening on the same day. Pure coincidence.”

出題者コメント

我々人類が自然界の一つの生命体であるのなら、自然界によって支配されているのは当たり前であるけれども、その小さな生命体に「感情や思考」があるというのであれば、なぜ人類という同じ生命体の間で争わねばならないのでしょうか？

解説と講評

講評：

誰の答案を見ても一般的に言えるのですが、今回もやはり「英文構造の分析」に大きな問題がありましたね。

大学受験の「英文法」という分析法では、21 世紀の IT 社会には通用しません。グローバルスタンダードの「英文法」（つまり、欧米の視点に立った科学的な「翻訳文法」）こそこれからの社会に必要な法則であって、現在は言うなれば二重基準という過渡期の段階にある（いずれは一つの基準になる）と言えるでしょうね。

2,3 解説しましょう。

① "even more unusual for a meteor, it caused numerous injuries, mostly from flying glass, as the shock wave violently jolted the city of Chelyabinsk."の一文です。

この文章の主語と述語と目的語は、いうまでもなく"it caused injuries"です。従って、「その隕石がおびただしい被害を及ぼした。」という訳出を一步たりとも譲歩することはできません。ということは、それ以外の語句や節はこの主節に何らかの形で接続していることになりますね。前方にある語句は省略されているのですが"being(though)"、そして後方の節は"as (時)"という接続語によって、接続されているわけです。

要するに、文章には「主たる部分と従たる部分」があるということですね。

② "It hit on the same day that～"ですが、この構造は基本的に「it ～that」の構文です。しかし、日本語にこのような複文の形で二つの節が用いられることがない点で、注意する必要があるのです（文化による思考のズレ）。

この場合、"hit"を"happened"や"chanced"に置き換えてみて下さい。「たまたま～した」といった、日本語的視点からすると副詞的あるいは助動詞的なニュアンスが出てきたと思います。

これこそが「節」に対する（延いては「動詞や副詞」に対する）理解の仕方が文化によって異なる姿なのです。少し難しい問題ですが・・・。

模範訳例（最優秀答案）

（見出し）

大規模な爆風とおびただしい被害、まれに見る隕石災害

（本文）

今日ロシア上空で炸裂した隕石は、隕石による災害としては過去 1 世紀あまり例のない大規模な衝撃波をもたらしたと、少なくとも西側諸国の科学者は見ている。異例中の異例ともいえるのは隕石により多数の負傷者が出たことで、これはすさまじい衝撃波がチェリャビンスクの街を襲った際にガラスの破片が飛び散ったことに起因する。

同じく今日、地球からわずか 17,200 マイルのところを、これより大きな別の岩が通過するのを天文学者らが目撃、専門家がこぞって 2 つの珍しい宇宙現象の観測に忙殺される事態も起きた。

当初は地球が小惑星帯の中を通過しているとの推測が流れたが、ロシアの隕石は異なる方向からの飛来であった。N A S A地球近傍天体チームのポール・チョーダス氏は「2つの事象に関連はない」との見解を示し、「地球をとりまく宇宙空間が射撃場と化したかに見えた。大変珍しい事象がたまたま同じ日に起きたということ。全くの偶然である」と語った。

総評

最近、応募答案の添削に随分時間が掛かるようになりました。

その理由は、やはり熱心な答案が増えてきたことによるものと思われます。

勿論、それはとても結構なことなのですが、ここで一つアドバイスすると「取り組む視点」を「単なる英文読解から実践に役立つ英語力」に切り替えてほしいのです。これは非常に困難なことなのですが、答案を見ると辞書や単語帳の暗記知識をちりばめたような答案が目立つのです。これでは進歩はありません。もっと、参考書や文法書を参照して論理的な答案を作成してほしいのです。

現代では何の学習もそうなのですが、「覚える学習ではなく考える学習」であって、かつての「学ぶよりも慣れろ」とか「その人の独自性は先人の真似から始まる」といった時代ではないのです。

過去の知識はとても大切です。しかし、時代は常に変化し発展しているために過去の知識をいくらたくさん覚えていても、場合によっては今の知識が次の瞬間に役立たないことは当たり前のことなのです。

未だに大学入試に向けた受験の世界では、不思議なことです暗記学習を基準にした「偏差値」が生きていますが、これはやがて「グローバル基準」に統一されることになるでしょう。

この問題は、昨今のニュースからお気づきのように、大学入試の受験資格として欧米のように近々「トーフル(toefl)試験」を取り入れるようです。これが本当であればというよりも本当だと思いますが、日本の英語教育の現場をひっくり返すほどの大問題（例の法科大学院問題よりももっと深刻）です。今後「翻訳コンテストのブログ」の中で、何がどのように問題となるのか、その対策は何かについて取り上げてみようと思います。

勿論、私の英語は一貫して「グローバル基準」で指導しています。ローカルなジャパニーズ・イングリッシュではありませんので安心して学習に励んで下さい。

以上。

第 137 回 英日翻訳コンテスト

以下の英文（見出し・本文）を日本語に翻訳しなさい。

引用データ：The New York Times Mar. 7, 2013

見出し **New Sanctions on North Korea Pass in Unified U.N. Vote**

本文 Ignoring threats of retaliation, the United Nations Security Council ordered new economic sanctions against North Korea on Thursday for its third nuclear test last month, unanimously approving a resolution that the United States negotiated with China, the North's greatest protector.

In an angry response, North Korea said Friday that it was nullifying all agreements of nonaggression and denuclearization with South Korea and was cutting off the North-South hot line. But beyond those steps, it was unclear how, if at all, North Korea's young and untested leader, Kim Jong-un, would react to the rebuke.

出題者コメント

北朝鮮を含むアジア世界は、今や「民主主義や人権」とは何かについて一人の人間の視点から深く捉え直す必要に迫られている。

解説と講評

2点解説しようと思います。

まず、前段の, unanimously approving a resolution ~についてです。

この approve と前節の order とは主語が同じ the United Nations Security Council です。ここが重要なのです。

主語から観てこの2つの動詞がどのように見えるかという問題と、構造的に approving はどのように位置しているのかは別問題です。後者は構造上から分詞構文の「接続詞の省略」の問題です。

そうすると、2 つの動詞との間に一定の秩序が必要となるのですがその秩序というものがないのです。

このような場合は時事英語によくあることですが、結論として「2 文」に分けるのが賢明です。

次に、後段の beyond those steps, it was unclear how~について取り上げます。

訳のイメージとしては、「これらの対抗措置の他に~この厳しい非難決議に対してさらにどのように反応するのか~」というところです。この訳が生まれた根拠は beyond が react という動詞に接続していることから来るのです。これは構造上の問題ではなく、「機能上の問題」なのです。

翻訳は、段階的に「分析ー訳出ー表現」を踏みますが、最大のポイントは分析から訳出への段階です。この段階で必須の知識が、英文の「構造と機能」の問題です。

これについては、今後少しずつ取り上げようと思います。今回は「総評」の中で少しばかり紹介していますので一読して下さい。

模範訳例（最優秀答案）

（見出し）

北朝鮮追加制裁、国連が全会一致で採択

（本文）

北朝鮮の先月の 3 度目の核実験に対し、国連安全保障理事会は報復の脅威を恐れず、7 日木曜、新たな経済制裁を決定した。米国が北朝鮮の最大の後ろ盾である中国と協議を進めて作成した決議案が満場一致で承認されたものだ。

これに反発して北朝鮮は翌金曜、韓国との不可侵および非核化に関する一切の合意を破棄し、南北間のホットラインも閉鎖したと表明した。だが、こうした段階を越えて、北朝鮮の若く未知数の指導者、金正恩氏が行動に出るとしても、この強い非難にどう反応するかは明らかではない。

総評

不況の中にあっても着実にグローバル化は進んでいます。

TPP という関税の問題だけではなく、今日のニュースは早稲田大学の四学期制（現在は前期と後期の二学期制）の導入です。

読んでみると、留学の送り出しと、受け入れをスムーズにするためだそうです。これが教育における国際化ということらしいのですが、反対に欧米諸国は教育の国際化のためにそのようなことをしているのだろうか？もししていないのであれば、要するに日本人の留学というのはこれまでのように「しばらく欧米にでも行って、欧米人の精神文化を身につけて来い！」ということなのでしょう。いつまでたっても欧米の物まねばかりで、実に情けない話ですね。

ところで、「解説」の中で述べた英文の「構造と機能」の問題です。

この問題は翻訳の方法論の根本（「分析－訳出」のプロセス）に関わる最重要な問題なので、この「翻訳コンテスト」の中でも「解説」の中で取り上げました。しかし、さらに深く詳細に、そして広範にわたって論じるために、昨今「実践から学ぶ英語翻訳法」の執筆にとりかかりました。私は、この「構造と機能」の問題を「でんしゃ理論(Train Theory)」と呼んで、長年研究し開発してきましたが、この度その成果を一挙に公開することにしたのです。

以上。

第 138 回 英日翻訳コンテスト

以下の英文（見出し・本文）を日本語に翻訳しなさい。

引用データ：The New York Times Apr. 24, 2013

見出し 2 U.S. Agencies Added Boston Bomb Suspect to Watch Lists

本文

Information about one of the suspects in the Boston Marathon bombings was entered into two different government watch lists in 2011, but no action was taken after an F.B.I. review concluded that he had no links to extremist groups, American officials said Wednesday.

The picture emerging was of an American counterterrorism bureaucracy that stored information on the suspect, Tamerlan Tsarnaev, but never found reason to investigate after an initial review by the F.B.I., requested by the Russia government, found no information that tied him to extremist groups.

出題者コメント

欧米型の民主主義のグローバル化がアジアの独裁制や宗教国家にどのような影響を及ぼすのか？
21 世紀はまさに政治・経済・文化の衝突の時代であり、融合の時代は次の世紀となろう。

解説と講評

沢山のご質問を頂き感謝（？）しています。

全部にお答えできないのは言うまでもありませんが、ご理解下さい。

さて、今回も 2 点取り上げてみましょう。

まず、2 文目の "of" についてです。

of は文中で多用されるために、その用法を知るのは非常に重要です。ここでは、その内の一つである用法について説明します。

それは「名詞を形容詞化する」用法です。一般的に、of は「前置詞」としての基本的な働きとして、背後に名詞の目的格をとり、そしてその名詞を別の品詞へ接続させる役割を持っています。つまり「接続語」としての働きです。

しかし、ここでの of は「名詞を形容詞化する働き」です。背後の bureaucracy を目的語として、この名詞を「形容詞化」する働きです。訳出として「～な性質、特質」などの意味合いを出します。それをここに適用しますと、be 動詞と一体となって「官僚的な体質である」となります。

もう一つは、"after"についてです。

この文頭にある、after an initial review by the F.B.I., requested by the Russia government, found no information that tied him to extremist groups.

について説明します。

ここでの after は「接続詞」の after であるのに、「前置詞」の after と捉えた訳文が非常に多くありました。恐らく、挿入語句である ', requested by the Russia government, 'に掻き乱されたのではないのでしょうか？

接続詞にせよ前置詞にせよ、ともに「接続語」ですから、その共通点と相違点を知らねばならないのは当然のことです。これを学校文法で探るのは相当困難ではあるのですが、参考書などをひもときながら調べますと、必ず私の説である「でんしゃ理論」に到達できますよ。

嘘ではありませんからしっかりと学習して下さい。次回を楽しみにしています。

模範訳例（最優秀答案）

（見出し）

ボストン爆破事件容疑者、米の 2 機関の監視リストに存在

（本文）

ボストンマラソン爆破事件の容疑者のうち 1 名に関する情報が、2011 年に異なる二つの政府監視リストに加えられていたものの、FBI の調査結果が過激派グループとのつながりはないと結論づけた後は何の対処もなされなかった、と水曜日、米政府当局者が語った。

浮かび上がってくるのは、米政府テロ対策のお役所仕事ぶりである。政府はタメルラン・ツアルナエフ容疑者の情報を保持していながら、露政府の要請で行った FBI による最初の調査で彼と過激派グループとの関連を示す情報が見つからなかったために、それ以上の調査を行う根拠を見出

すことができなかった。

総評

前回の問題は難しかったようで、全体的に出来が良くなかったと言えるでしょう。

その最大の理由は、大まかに言う「英語の書き方の基本を知らない」、つまりどのような性質のことばで書き始めていて、そしてその書き出しが途中でどのように展開されるのかという、まず英文の基本的な「構造」がしっかりと把握されていないということです。

こうなりますと、次の問題であるそれぞれの単語が相互に「どのように働いているのか」という「機能」はさらにつかめ切れないことになります（いわゆる「構造と機能」の問題）。

日本の教育は、長い間英語に限らず何事も「部分を暗記して全体を捉える」という、実に非科学的で原始的な方法を学習の基本としています。しかし、何事も「部分は独立しているのではなく、相互に機能的に（有機的に）結びついている」わけですから、このような「部分を捉える暗記学習法」で21世紀を乗り切ることも展望することもできないことは現在知られつつあるところです。

私は英語を飯の種にしている「翻訳者」として、読者の皆さんへ今後も英語教育を通して「グローバル化」の何たるかを伝えていきたいと決意しています。

以上。

第 139 回 英日翻訳コンテスト

以下の英文（見出し・本文）を日本語に翻訳しなさい。

引用データ：The New York Times May 27, 2013

見出し Japanese Politician Reframes Comments on Sex Slavery

本文

Seeking to quell an uproar over his recent comments suggesting that sexual slavery was a necessary evil in Japan's imperial past, a populist party leader said Monday that he had not meant to justify wartime brothels or deny the women's suffering at the hands of Japanese soldiers.

But the politician, Toru Hashimoto, who is a co-leader of the opposition Japan Restoration Association and the mayor of Osaka, Japan's third-largest city, also argued that Japan was being unfairly singled out for its use of so-called comfort women, and that other nations needed to examine the mistreatment of women by their own militaries before pointing the finger at Tokyo.

出題者コメント

彼の「慰安婦」発言の根底にあるものは、歴史認識や憲法上の基本的人権以前の「女性に対する蔑視の見方」そのものであろう。本人やその支持者の責任も勿論問われるべきであろうが、そもそもそのような見方が醸成された教育や我々の文化を直視すべきではないかと思う。

解説と講評

ここでは2点について解説しましょう。

1つは、第1段落の"seeking to ~"の箇所です。

これは、「分詞構文の付帯状況」といって、主文の「動詞」saidに付帯して、その状況について詳しく述べる方法なのです。

従って、この2つの動詞の間には「並立関係」が成立し、かつ「同一時制」になるのです。

ここが重要です。

その結果、単純に訳出してみると「～を抑えようとして、（そして）～と言った」となるのです。分かったでしょうか？

次に、第1・2段落の"said that ～"と、"argued that～"についてです。

共に背後の節が長文なっていますので、上手にカットして訳すことができるのです。

従って、共に「～は、次のように述べた。～」と訳すとすっきりするのではないのでしょうか？

自分で訳してみて確認して下さい。

模範訳例（最優秀答案）

（見出し）

日本の政治家、「慰安婦」発言を軌道修正

（本文）

従軍慰安婦は日本の帝国主義の過去において必要悪だったと示唆する最近の発言に対する混乱を鎮めようと、一般政党党首は月曜日、戦時中の売春宿の正当性や、日本兵よりうけた女性の苦しみを否定することを意味したわけではないと言った。

しかし、政治家で日本維新の会の共同代表であり、日本第三の都市の大阪市の市長である橋下徹氏はまた、日本は不平等にも、いわゆる慰安婦の使用を単独で指摘されており、他の国々は東京を名指しで非難する前に自国の軍における女性の虐待を調査する必要があると主張した。

総評

私の翻訳理論の中心をなす「でんしゃ理論（構造論と機能論）」について少しお話ししましょう。

読者の方々はなぜ「電車」なのだろうか？と思われるかもしれませんが、この「電車」に行きつくまでには非常に長い年月がかかっているのです。「箱型」や「恐竜型」など英文の形を求めて悪戦苦闘を繰り返し、ようやくにしてたどり着いたのがこの「電車」だったのです。

つまり、英文の形（構造の外枠）は「電車」であって、そしてそれが「二両編成」「三両編成」という複数の車両で繋がれているのです。

そして、その車両の中に乗客が乗っているのです。その乗客は1組の家族、あるいは数組の家族といった単位で乗っているのです。

基本的に、一つの車両に「1組の家族」が乗っていて、その家族の中心的存在、言い換えると「家族の核」となっているのがお母さん、文法的に言うとな「動詞」なのです。

従って、二両編成の電車であれば2組の家族が乗っていて、それぞれの家族にお母さん（動詞）がいるということになります。そして、お母さん以外にその家族を構成している「お父さん」「長男」「長女」といった具合にそれぞれが英文の構成要素、文法的に言うとな「文要素」となっているのです。

この度は構造論の触りを取り上げました。また、次の機会に続きをお話ししましょう。

それでは、また。

以上。

第 140 回 英日翻訳コンテスト

以下の英文（見出し・本文）を日本語に翻訳しなさい。

引用データ：The New York Times Jun.11, 2013

見出し **Surveillance: Snowden Doesn't Rise to Traitor**

本文

For several top lawmakers in Washington, Edward Snowden committed the ultimate political crime when he revealed to the world just how broadly and easily the government is collecting phone and Internet records. “He’s a traitor,” said John Boehner, the House speaker. “It’s an act of treason,” said Senator Dianne Feinstein, the chairwoman of the Intelligence Committee.

Among prosecutors and defense lawyers, there’s a name for that kind of hyperbole: overcharging. Whatever his crimes ? and he clearly committed some ? Mr. Snowden did not commit treason, though the people who have long kept the secrets he revealed are now fulminating with rage.

出題者コメント

インターネットで人間社会の全ての情報を手に入れることが仮に可能であるとしても、それを実行すれば当然犯罪である。なぜなら、一人の人間から始まる集団・社会・国家の全ての権利が害されるからである。そこに、規制に関する適正な手続きが存在する理由がある。

解説と講評

どの答案を見てもなかなか骨っ節のある答案ばかりで、心底嬉しくなります。
最優秀答案が完璧な答案では無論ありませんが、如何に翻訳文らしく世の中に通用する訳出になっているかをしっかりと学んで下さい。

2 点解説しておきましょう。

まず、前半の書き出しです。主語のスノーデン氏よりもワシントンの有力議員の方を重視した書き出しです。ですから、訳出もその点の考慮が欲しいところです。

英文の語順は、強調構文でも分かるように「文頭」に近いほど重要であることを忘れてはいけません。無論、すべてがそうというわけではありませんが。

次に、後半の最初の1文です。この表現法を見て「事実関係」を表しているのであって、「筆者の主張」などの表現ではないことを知らねばなりません。どこでそれを知るのか?と聞かれれば、言うまでもなく「主述関係」ということですね。

ここでその一部を訳出しておきましょう。「そのでの誇大表現には、～の間に一つの呼び名があって、それは過剰問責(overcharging)である。」となるのです。

模範訳例（最優秀答案）

（見出し）

監視下にあるスノーデン、反逆者ではない （訳：出題者）

（本文）

ワシントンの複数の有力議員にとって、エドワード・スノーデンは究極の政治犯罪を犯した。米政府がいかに広範囲に容易く、電話やインターネットの通信記録を収集しているかを世界に向けて暴露した瞬間に。ジョン・ベイナード下院議長は「彼は反逆者だ」と語り、ダイアン・ファインスタイン上院諜報委員会委員長も「反逆行為である」と批判した。

検察官と被告側弁護士の間で、その種の誇大表現にふさわしい名称がある。「過剰告発」だ。彼が暴露した機密を長い間守り通してきた人々は、怒りもあらわに非難しているが、彼の罪が何であれ——いくつか犯したのは確かだ——スノーデン氏は反逆罪を犯したわけではない。

総評

最近の応募者の中に、翻訳学習を始めたという人が目につきます。

その方々のために、一つだけアドバイスをしましょう。

それは、答案を作成するにあたって「徹底的に調べ、そして不明なこと曖昧なことは必ず質問する」という姿勢を貫くことです。

この姿勢は学習におけるいろいろな側面にかかわってきます。時間もかかりますし、参考資料も必要になってきます。

なぜそのような学習プロセスを踏むかといえば、それは何度も述べているように悲しいかな長年にわたって染みついてしまった「暗記学習法」から脱して「考える学習法」に切り替えるためだからです。

その「考える学習法」の具体的方法を示しているのが、毎回の「講評・解説コーナー」なのです。ですから、この企画シリーズの「過去問」はまさに英文の捉え方やポイント、さらには具体的な学習法までも、もちろん部分的にはありますが親切に示した指導書なのです。

その指導書に基づいて答案を作成し、そしてわからないことがあればその都度質問することによって、自らの頭の中に「考える・思考するルート」が出来上がっていくのです。極端に言うと、「思考の異なった別人格」が生まれてくることになります。

面白いですね。頑張ってください。

以上。

第 141 回 英日翻訳コンテスト

以下の英文（見出し・本文）を日本語に翻訳しなさい。

引用データ：The New York Times Jul. 19, 2013

見出し **President Offers a Personal Take on Race in U.S.**

本文

After days of angry protests and mounting public pressure, President Obama summoned five of his closest advisers to the Oval Office on Thursday evening. It was time, he told them, for him to speak to the nation about the Trayvon Martin verdict, and he had a pretty good idea what he wanted to say.

For the next 15 minutes, according to a senior aide, Mr. Obama spoke without interruption, laying out his message of why the not-guilty ruling had caused such pain among African-Americans, particularly young black men accustomed to arousing the kind of suspicion that led to the shooting death of Mr. Martin in a gated Florida neighborhood.

On Friday, reading an unusually personal, handwritten statement, Mr. Obama summed up his views with a single line: “Trayvon Martin could have been me 35 years ago.”

出題者コメント

人種やジェンダーに対する差別や偏見は、単なる低い意識として捉えることはできません。そのような意識は、必ず文化的側面とそれを構成している人間そのもの、もっといえば「己(self)」に対する自覚の欠落にあると思われる。

解説と講評

2点取り上げて解説しようと思います。

まず、"It was time, he told them, for him to speak to the nation about the Trayvon Martin verdict,

and he had a pretty good idea what he wanted to say."の1文についてですが、「そろそろ～しなければならぬ時がやってきた」という意味合いの「時間の到来」を告げる表現法です。この「itの構文」は無人称代名詞の「時間のit」を用いているので、ある意味で「強調」のニュアンスを出すように心掛けて下さい。

この構文を「it ～ for ～ to」と誤解しないようにしてもらいたいのですが、それでは「for ～ to」をどのように分析するのか問題になります。さて、どのように分析するのでしょうか？考えてみて下さい。

次に、"～ arousing the kind of suspicion that led to the shooting death of Mr. Martin ～"の分析をしてみましょう。このthatは関係代名詞ですから先行詞のsuspicionが「主語」になるわけです。つまり、「物主構文」なわけですから、仮のこのように動詞が他動詞ではなく自動詞のlead toとなっても、そのまま訳出すわけにはいきません。従って、基本的に「生物主語」しか存在しない日本語の秩序に合わせる必要があるのです。

少しばかり訳出してみましょう。ここの訳は、「結果的にマーチン君が射殺されたような嫌疑をかけられる・・・」といったニュアンスになるでしょうね。

模範訳例（最優秀答案）

（見出し）

大統領、米国の人種問題について個人的見解を語る

（本文）

何日間にもおよぶ怒りの抗議行動と、高まりをみせる世論の圧力をうけて、オバマ大統領は木曜夜、ホワイトハウス執務室に側近の顧問5名を呼び寄せた。大統領は側近らに対し、トレイヴォン・マーティン事件の評決について国民に語るべきであり、自ら述べたい事は概ねまとまっている、と語った。

ある上級補佐官の話では、その後15分間、大統領は途切れることなく語りつづけ、アフリカ系アメリカ人が、とりわけ、今回フロリダ近郊にあるロックゲート付住宅地でマーティン少年銃殺事件を引き起こしたような、周囲からの疑いの目を引くことが習慣となってしまう若年層の黒人男性達が、なぜこの無罪評決のために苦しんでしまったか、自らのメッセージを明確に示した。

金曜日、彼としては異例の、個人的な手書きの声明を読み上げながら、オバマ大統領は、ある一行に自らの見解を集約させた。「トレイヴォン・マーティンは、35年前の自分だったかもしれな

い」。

総評

難しかったのでしょうか。どの答案も満足のいけるものがありませんでした。

その最大の原因は、受験英語の学習の中で古文や社会の学習と同じように「単語・熟語・構文」をそのままの形で英文にあてはめて「訳出」しようとしていることにあります。

確かに、英文は英単語や熟語、そして構文から構成されているのですが、そのそれぞれが英文の「しかるべき位置」に存在しているのは「しかるべき理由」、すなわちそれぞれが果たさねばならない「機能（働き）」があるからなのです。

その「存在の必然」を具体的に調べなくては「正しい日本語」は生まれてきません。辞書だけではなく、特に参考書や文法書で徹底的に調べ上げて、分からなければ遠慮することなく質問してください。もちろん、私が思うに日本に最適の参考書や文法書はありません。なぜなら、それらはすべて暗記を前提として書かれたものだからです。しかし、利用の仕方によっては確かに役に立ちます。

* 辞書や文法書など推薦してもらいたい人がいればお知らせください。

まだまだ、英文をパッチワークかパズルのように「平面的」に捉えているようで、「立体の構造物」には見えていないようです。

先が長いですね。厳しいですが、皆さんの頑張りと結果を期待します。

以上。

第 142 回 英日翻訳コンテスト

以下の英文（見出し・本文）を日本語に翻訳しなさい。

引用データ：The New York Times Aug. 28., 2013

見出し Britain to Wait on Weapons Report Ahead of Syria Strikes

本文

The prospect of an imminent Western military strike on Syrian government targets appeared to encounter a delay on Wednesday when Britain signaled it would first await the findings of a United Nations inquiry into the suspected use of chemical weapons in a mass killing near Damascus, and would then hold a separate parliamentary vote, which could be days away.

Prime Minister David Cameron of Britain, who runs a coalition government, is facing political difficulties from legislators mindful of the experience in Iraq, when assurances from Prime Minister Tony Blair and President George W. Bush that Saddam Hussein had weapons of mass destruction proved inaccurate and a false pretext for war.

出題者コメント

2010 年頃から中東の民主化運動を「アラブの春」と呼んでいるが、デモクラシーそのものが宗教や文化に深く関わっているのであるから、そもそもが武力で解決できるものではない。人類に新たな知恵が求められていると言えよう。

解説と講評

ポイントを 2 つ解説しておきましょう。

第 1 段落の"～on Wednesday when～"と第 2 段落の"～the experience in Iraq, when～"の個所ですが、どちらも「接続語」when を用いています。

前者は「関係詞の限定的用法」で、先行詞は Wednesday です。限定用法ですから、学校文法に従

うと、後方の動詞を先行詞に繋ぐ作業が求められることになりますが、これは訳出に支障が生じますね。つまり、限定用法であっても、先行詞を特定できたらその個所で切断して、そしてその先行詞を次の文の最初に二度訳すればいいのです。具体的に言うと、「水曜日に延期することになった模様だ。その日は、「イギリス政府が・・・」となるのです。

次に、後者の「関係詞の継続的用法」の問題です。これは私の「でんしゃ理論」に詳しく書かれているのですが、ともあれ関係副詞には「接続詞（一般的に and）＋ 副詞」が含まれているのです。具体的に表すと、"～, when = ～, and then"となるのですね。

ということは、訳出しますと「そしてそのとき、～」もしくは「そしてそれから～」となるのです。ここでは背後の動詞が proved という過去形ですから、前者で「そしてそのとき」となるのです。

模範訳例（最優秀答案）

（見出し）

英、シリアへの軍事攻撃は国連の調査待ち

（本文）

シリア政権を標的とする欧米軍の攻撃が目前に迫ると予想される中、28日、遅れることになる見通しとなった。この日英国が明らかにしたところによると、ダマスカス近郊での多数市民殺害に化学兵器が使用されたとの疑惑を巡って国連の調査が入ったため、英国はまずこの調査結果報告を待ち、その後議会各院での採決を行うという。採決は数日先になるだろうとのことだ。

連立政権を運営するデイビッド・キャメロン英首相は、イラク戦争での苦い経験が記憶に鮮明に残る議員らの反対によって政治的困難に直面している。イラク戦争では、サダム・フセインが大量破壊兵器を保有しているというブレア元首相とジョージ・ブッシュ元大統領の確信が誤りであり、戦争への誤った口実となったことが判明したのだった。

総評

前回に比べると少しばかり手応えを感じました。

しかし、基本的な知識が不足しているというか、調べが足りない答案がまだまだたくさんあります。やはり、1つは「添削された後の学習不足」のように思います。せっかく熱心に調べて提出

した答案を添削してもらったのだから、それを無駄にしてはいけません。自分の欠点を指摘されたわけですから、これを活かさない手はありません。

同じような誤りを繰り返さないためにも、添削された答案は「解説ページ」を参考にして時間をかけて復習することが大事です。

もう一つは、やはり「質問」することです。質問しない、質問できないということは、勇気がないといった問題ではなく、やはり「暗記学習」をしているということです。最優秀答案や模範訳例、そして解説ページを見ればわかると思っているのではないのでしょうか？

それらを見ただけではまだ不十分なのです。

もしそれらを見ればわかると思っているのであれば、あなたの学習の基本は「暗記」となっている可能性があります。

ですから、調べたら質問するという習慣を身に着けるように努力してもらいたいですね。

以上。

第 143 回 英日翻訳コンテスト

以下の英文（見出し・本文）を日本語に翻訳しなさい。

引用データ：The New York Times Sep.10, 2013

見出し **Apple Unveils Faster iPhone, and a Cheaper One, Too**

本文

That is why Apple is releasing two new iPhones this month instead of just one, including a cheaper model aimed at less wealthy countries where new Apple phones have been desired but are out of reach because of their price.

The lower-cost model, the iPhone 5C (the C for color) comes in a plastic case and has the same features as the now-discontinued iPhone 5. The fancier model, the iPhone 5S, comes in aluminum and includes a faster processor and a fingerprint sensor for security, among other features. The iPhone 5S costs \$200 with a contract, and the iPhone 5C costs \$100 with a contract.

出題者コメント

21 世紀は IT 社会と言われて久しいが、情報はあくまでも手段であって目的ではない。では、21 世紀の人間社会の目的は何か？、あなた自身の目的は何か？という質問に戸惑うほど我々日本人は自分を失い、従って手段の中にのみ生きているともいえよう。

解説と講評

■ ヘッドラインについて：

", too"があるので、付加的な関係を役に出す必要があります。

例えば、「～に加えて安価な機種も発表」

■ "That is why～"について：

この問題は時事英語の書き方にも関わってきます。

headline - subhead - body です。

つまり、headline は結論の部分ですから、subhead では往々にしてその結論の理由が書かれることになるのです。

そのときの表現法の一つが、"That is why～"ですから、訳出のイメージは「その理由は～の通りです」となります。訳すことも訳さないこともあるゆえんです。

■ ", including～"について：

これは「現在分詞」と捉えることも、また「前置詞」と捉えることも可能です。いずれにしても、"two new iPhones"に接続しているので、次のような構造式になります。

構造式：A, including B

ということは、A と B が繋がったわけですから、どちらから訳すことも基本的には可能になります。ではどのように訳したらいいかを考えてみて下さい。

模範訳例（最優秀答案）

（見出し）

Apple 社、新機種に加えて安価な iPhone も

（本文）

Apple 社は、iPhone の需要はあるものの、その高価さゆえに手の届かなかった消費者の多い国向けの安価なタイプを含む 2 つの iPhone 新機種を発表した。

低コストモデルにあたる、iPhone 5 C（C は color の頭文字から）は外面がプラスチック製で、現在販売を終了している iPhone 5 と同じ機能を持つ。一方、最先端モデルの iPhone 5S はアルミニウム製の外面で、より高速なプロセッサと指紋認証式のセキュリティシステムを搭載している。本体価格は、iPhone 5S が 200 ドル、iPhone 5 C が 100 ドル。

総評

翻訳コンテストの過去問について幾つかのご意見のメールが来ています。

一つは、出題者の模範解答で、もう一つは過去問の「解説」の公開です。

前者については、最優秀者の答案だけではなく「出題者の模範解答を公開してほしい」という何人かからの要望がありました。出題者の模範解答は作成と公開するまでの処理にかかる時間の点から現時点では難しいのですが、今後体制を整えて皆さんのご要望にお応えしたいと思います。・・・2015年1月から日英翻訳、同10月から英日翻訳において模範訳例を公開しています。

今回から「解説」を少し詳細に、そして出題者の訳出も一部ではあるのですが公開するようにしました。

また、「英文全体の捉え方」（英文構成法という新分野の問題）もこの企画の中で新しく付け加えましたので、読者の方々の学習に役立つのではないかと思います。

もう一つですが、「過去問」の公開です。システム上の問題があって現段階では困難です。しかし、希望者が多くなれば今後何らかの対策は立てたいと思います。・・・このご要望には2018年2月（本年度）からようやくお応えできるようになりました。遅くなりまして誠に申し訳ございませんでした。

----- 公開内容 -----

2014年1月からの英日・日英翻訳（翻訳コンテスト）の過去問を年度版にて公開いたします（有料）。なお、「斉木英語検定」の過去問は当面英日翻訳の過去問を公開いたしますが、体制が整った段階で日英翻訳の過去問も公開する予定です。

今後とも積極的なご質問やご意見を沢山お寄せ下さい。
少しずつではありますが、ご要望にお応えできるように努力して参ります。

以上。

第 144 回 英日翻訳コンテスト

以下の英文（見出し・本文）を日本語に翻訳しなさい。

引用データ：The Baltimore Sun October 23, 2013

見出し **Some thoughts on former Orioles RHP Koji Uehara and his role as Boston Red**

Sox closer

本文

The Red Sox are a division rival. And, if you're an Orioles fan, you've probably built up a dislike for that team in New England, especially since it started winning titles again after a hiatus of eight-plus decades.

But if the Red Sox end up winning the Series, chances are the title-clinching game will be a close one, since most of the games this postseason have been tight, low-scoring affairs.

And if they're clinging to a tenuous lead in the ninth, you can expect closer Koji Uehara to be on the mound, hoping to slam the door and celebrate a championship.

That would be a dilemma for Orioles fans: to root for or not to root for Koji?

出題者コメント

スポーツ記事も伝達するための用語や表現法に一つの専門性を持っています。従って、その分野に優れた才能があれば立派なスポーツライターです。しかし、その前提として翻訳の基礎理論が必要であることは言うまでもありません。

解説と講評

2～3 のポイントを取り上げましょう。

まず、見出し文の捉え方ですが、この見出し文は「名詞語句」となっています。その場合、日本語では文末を見て、意味内容を判断しますが、英語はそれが構造上文頭にあるということです。

ですから、some thoughts on の訳し方が大切となるのです。訳出法では「～についての幾つかの思い」となるのですが、これを前提とした個人差のある訳し方が生まれるのです。

次に、2 段落目の代名詞の it です。これは直前の that team を指しているのです、その特定が必要です。日本語は代名詞の発達が遅れているので、特に注意が必要となります。

次に、(The) chances are (that)～です。「恐らく、～であろう」と訳しますが、文構造を正確に把握するために省略された語句を意識して下さい。

次に、「動詞」expect の扱いは重要ですから、各自その用法の確認をお願いします。

最後に、That would be ～です。なぜ助動詞が過去形になっているのでしょうか？ヒントとして、「婉曲用法（仮定法）」を挙げておきましょう。訳出としては、「そうなれば（そのような展開になれば）、～」となります。

模範訳例（最優秀答案）

（見出し）

元オリオールズの右投手　ボストン・レッドソックスのクローザー上原浩治への思い

（本文）

2013 年ワールドシリーズ、ボストン・レッドソックス対セントルイス・カージナルスは、今晚、フェンウェイパークで開幕するが、少々胸中複雑なオリオールズファンもいることだろう。

レッドソックスは同地区のライバルだ。オリオールズファンの読者なら、もしかするとニューイングランドのこのチーム（レッドソックス）を毛嫌いしているかもしれない。特に、80 年以上の空白期間を経て、レッドソックスが再びワールドシリーズのタイトルを手にするようになってからは。

しかし、レッドソックスがシリーズを制覇することになるのであれば、おそらく優勝を決める試合は接戦になるだろう。今季のポストシーズンでは、これまでロースコアのもつれた試合がほとんどだからだ。

そしてレッドソックスがわずかなリードのまま 9 回を迎えれば、カージナルス打線を封じ込め、

世界一を達成するため、マウンドにはクローザーの上原浩治が上がるはずだ。これはオリオールズファンにとってはジレンマだろう。上原を応援する？しない？

総評

前回の第 143 回の総評で、解説・講評の改善などについていくつか述べました。

それらの改善点を少し整理すると以下のようになります。

1. 解説ページについて、解説ポイントをできるだけ多く、具体的には最低 2 つは取り上げる。
2. 1 文についての分析ポイントの解説に加えて、できるだけ訳出法に踏み込んで添削者の訳出を具体的に示す（翻訳プロセス）：構造分析⇒日本語訳出⇒日本語表現）。
3. 翻訳法の新分野である「英文構成法」を解説に取り入れる（Lead-Body-Conclusion）。

読者の方々のご要望にお応えしながら、この翻訳学習シリーズを充実させていきたいと思っています。

以上。

第 145 回 英日翻訳コンテスト

以下の英文（見出し・本文）を日本語に翻訳しなさい。

引用データ：The New York Times Nov. 12, 2013

見出し **Kennedy Is Sworn In as Japan Envoy, a Post Long Held by Political Notables**

本文 Caroline Kennedy, the daughter of John F. Kennedy and one of President Obama's most prominent supporters, was sworn in Tuesday as the United States ambassador to Japan.

She will leave for Tokyo on Thursday.

Ms. Kennedy, 55, a lawyer and author, has been the director of numerous nonprofit organizations. She also endorsed Mr. Obama's candidacy in 2008 at a critical moment in his Democratic primary contest.

She has no special expertise in Japan. But she has a close relationship with the White House, as Secretary of State John Kerry mentioned during a reception on Tuesday night for Ms. Kennedy at the residence here of the Japanese ambassador.

出題者コメント

アメリカの自由主義と米ソ冷戦時代の象徴である父 JF Kennedy と娘キャロライン大使をダブらせて観ても、それは郷愁にすぎない。今や当時とはまったく違う複雑なグローバル社会になっているからだ。

解説と講評

講評：

どのジャンルの問題であっても、そのジャンル特有の言葉遣いや言い回しがあるのです。従って、そこにはそのジャンル特有の匂いすら発しているのです。

ですから、今回のように、政治問題でありつつエンターテインメント的なテーマには、翻訳の中でそのような匂いを出さねばなりません。

これは、翻訳プロセスにおける「日本語表現法」の問題です。しかし、この段階に至るためにはむろん正確な「分析のプロセス」を踏み、しかも専門のジャンルに迫る必要があるわけです。

努力されることを期待します。

解説：

Japan Envoy, a Post～：同格なわけですから一体化させるには？

「歴代の著名政治家のポスト、駐日大使～」となるでしょう。

, as Secretary of State John Kerry mentioned : 「様態」の接続詞の as を用いて従動詞の mentioned を抱え、そして主節の本動詞につなげる構造です。慣用的な用法でもあり、mentioned は自動詞であって他動詞ではありません。

「ジョン・ケリー国務長官が、～で述べたように・・・」となります。

模範訳例（最優秀答案）

（見出し）

ケネディ氏、駐日大使に就任宣誓 歴代有力政治家のポストへ

（本文）

ジョン・F・ケネディの娘で、オバマ大統領のもっとも有力な支持者の一人でもあるキャロライン・ケネディ氏が火曜、駐日米国大使就任の宣誓を行った。

氏は、木曜に東京に向かう予定。

弁護士で著述家の 55 才になるケネディ氏は、数多くの NPO の代表を務めてきている。また、2008 年民主党大統領候補予備選の重要な局面で、オバマ氏の指名獲得を後押しした。

氏は、特別日本に造詣が深いわけではない。しかし、ジョン・ケリー国務長官が、火曜夜、ワシントンの日本大使公邸で開かれたケネディ氏壮行レセプションの席で触れたように、ホワイトハウスと密接な関係にある。

総評

あっという間に一年が過ぎ去ってしまいました。

オバマ大統領、ケネディー大使。

昨今の米国史が同時に日本史になっている有様を見ると大きなグローバリゼーションの波のうねりが日本に打ち寄せている現実を感じざるを得ません。

それらすべての世界史の背景にあるものは「IT 化」という情報化社会の存在です。

その重要な手段になっているのが言うまでもなく、インターネットであり言語なのです。従って、我々の英日翻訳・日英翻訳の必要性が今後一層必要不可欠なものになっていくのは間違いのないことです。

来年こそ、その第一歩を大きく踏み出してもらいものと切に願っています。

以上。

第 146 回 英日翻訳コンテスト

以下の英文（見出し・本文）を日本語に翻訳しなさい。

引用データ：The New York Times Dec. 24, 2013

見出し Activity Seen at North Korean Nuclear Plant

本文

Satellite imagery suggests that North Korea may have begun producing fuel rods for its recently restarted nuclear reactor, a United States-based research institute said in a report published Tuesday.

The signs of new activity at North Korea's main nuclear complex in Yongbyon, north of Pyongyang, follow the country's repeated assertions that it is strengthening its capabilities to produce nuclear arms.

North Korea, which has conducted three nuclear tests since 2006, the most recent in February, has used spent fuel rods from the reactor as a source for plutonium, a key component for nuclear weapons.

出題者コメント

国民の不安をネタにその意志を抑圧し、支配する構図は、独裁国家のみならず民主主義の未成熟な国家で起きうる現象のようだ。

解説と講評

解説：

見出し：見出しは基本的に文章ですから、「動きが見られる」となっているのです。無論日本語は名詞語句ですから、上の訳出に基づいて「北朝鮮の核施設に動き」となるでしょう。

ともあれ、「動きが見られる」という訳出が仕上げの表現の大前提となります。

第一段落：suggests that～の表現ですが、伝達内容は thatclause にあるものですから、それまでの主節は軽く訳してください。「衛星画像から～したようである。」となります。

第二段落：follow ～の扱いですが、この他動詞は結構多用されるので重要です。その意味することは、「～の後から付いて行く」というものです。すなわち主語と目的語は同じ軌道を相前後して進んでいるというものです。従って、「～に沿うものである、～と一致している」などの訳出になるでしょう。

第三段落：North Korea, ～, has used A as B～の表現は、やや難しいものがあります。

まず、主語である North Korea と述語である has used との関係は基本的に抑えておかねばなりません。もう一つは、動詞 use の使用法です。目的語の A と as 語句の B は、動詞 use によって「手段と結果」の関係として配置されています。従って、「手段を用いて、～を作る」という関係でもあるのです。つまり、「A を用いて B を作る」ということです。

講評：

まだ単語の段階をウロウロしている人と、詳しくはわからなくてもかなり訳出として出来上がっている人など沢山の方々に参加して頂いています。

私はこのシリーズを通じて、応募者の方々には英文の最低限度の「構造と機能についての知識」を身につけてもらいたいと思っていますのです。その努力は、結果だけではなく、たくさんの副産物を私たちに提供してくれるからです。

模範訳例（最優秀答案）

（見出し）

北朝鮮、核施設に動き

（本文）

衛星画像によると、北朝鮮は最近再稼働した原子炉で使用するための燃料棒製造を開始した可能性があると、米国の調査機関が火曜日発行の報告書で述べた。

ピョンヤン北部ヨンビョンの北朝鮮最大級の核施設におけるこの新たな動きの兆候は、核兵器製造能力を高めつつあるという同国の再三の主張に続くものである。

2006 年以来、直近の 2013 年 2 月を含め三度の核実験を挙行した北朝鮮は、核兵器の主要構成要素であるプルトニウムの供給源として、原子炉から取り出した使用済み燃料棒を使用してきた。

総評

2014 年ですか・・・。

日本社会は更にややこしくなるでしょうね。
かわいそうな若者たち。

しかし、私たち老人にもかつては青春がありました。
目先の欲望と権威と共感に振り回された不安な青春でした。
自分というものの大切さに気づきませんでした。
その意味で、今の若者と似ています。

借金で首の回らない国家財政にあって、そこで消費税の増税ですか・・・。
今後、何か一つでも大きな社会問題が生じたらこの社会はもろく崩壊するかもしれません。

結局、日本人ってお金あつての存在のような気がするなあ・・・。
日本社会がまるで、蟻や蜂のような「昆虫社会」に見えてきます。

以上。